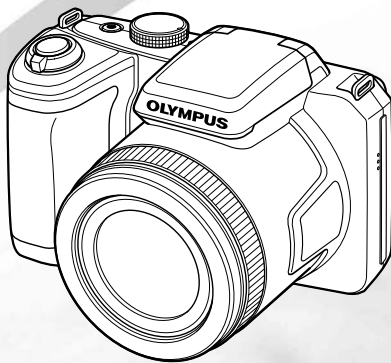
OLYMPUS®

デジタルカメラ

SP-820UZ

取扱説明書

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前に良くお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは実際の製品とは異なる場合があります。

目次

カメラの準備

撮影する

再生する

消去する

ムービーを撮る

メニュー設定

PCと接続する

プリントする

使い方のヒント

設定可能一覧

資料

索引

箱の中身を確認する

デジタルカメラ

ストラップ

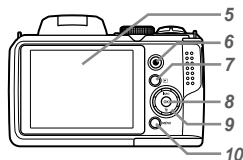
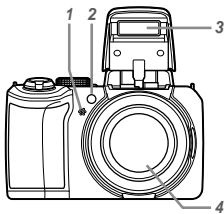
レンズキャップ/レンズキャップ用ひも

単3 アルカリ電池（4 本）

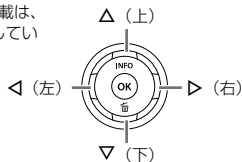
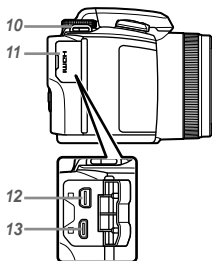
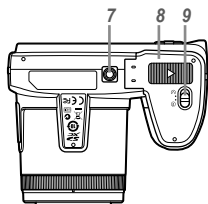
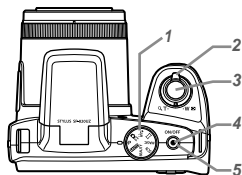
USBケーブル (CB-USB8)

OLYMPUS Setup CD-ROM

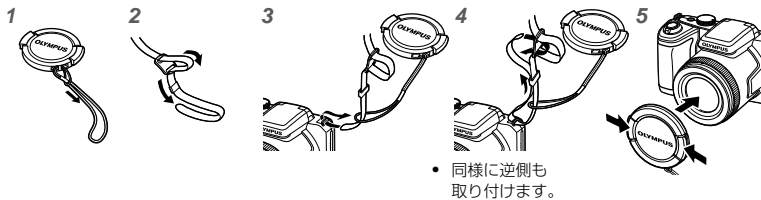
その他の付属品: 取扱説明書（本書）、保証書

各部の名前

1 録音マイク
2 AFイルミネータ/セルフタイマーランプ
3 フラッシュ
4 レンズ
5 モニタ
6 ◉ボタン（ムービー録画）
7 ▶ボタン（撮影/再生モード切替）
8 ⓞⓚボタン
9 十字ボタン
  INFOボタン（表示切替）
  🗑ボタン（消去）
10 **MENU**ボタン

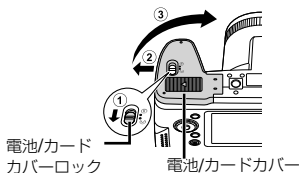
十字ボタン

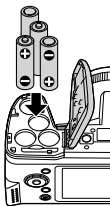
本文中の△▽◁▷などの記載は、十字ボタンを使うことを示しています。

1 モードダイヤル
2 ズームレバー
3 シャッターボタン
4 動作ランプ
5 **ON/OFF**ボタン
6 スピーカー
7 三脚穴
8 電池/カードカバー
9 電池/カードカバーロック
10 ストラップ取付部
11 コネクタカバー
12 マルチコネクタ
13 HDMIマイクロコネクタ

ストラップとレンズキャップを取り付ける

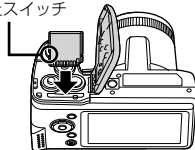
• 同様に逆側も
取り付けます。

最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

電池とカードを入れる、取り出す

1 ①、②、③ の手順で電池 / カードカバーを開く。

電池 / カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。

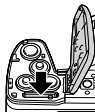
2 電池を入れる。

カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じて、ロックしてください。

使用できる電池の種類については「電池についてのご注意」(p. 67)をご覧ください。充電池の場合は、充電してください。

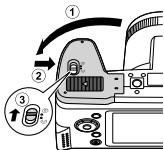
3 カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込む。

SD/SDHC/SDXCメモリーカードまたはEye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。「カードを使う」(p. 63)

カードの金属部には直接手を触れないでください。

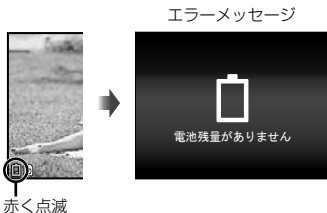
カードを取り出すには

1

2

カチッと音がするまでカードを押しこみ、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。

4 ①、②、③ の手順で電池 / カードカバーを閉じる。

電池/カードカバーロックをⒸから⊜にして、必ず電池/カードカバーをロックしてください。ロックしていないと撮影中などに電池/カードカバーが開き電池が出るなどして、画像データが消えてしまう場合があります。

電池の交換時期

次のエラーメッセージが表示されたら電池を交換してください。

電源を入れ、初期設定をする

初めて電源を入れたときは、モニタに表示されるメニュー表示等の言語の設定、日付の設定をする画面が表示されます。

1 **ON/OFF** ボタンを押して電源を入れてから、△▽◁▷ で言語を選び、㊋ ボタンを押す。

2 △▽ で［年］を選ぶ。

日時設定画面

3 ▷ を押して［年］を確定する。

4 手順 2、3 と同様に、△▽◁▷ で［月］、［日］、［時刻］（時、分）、［年 / 月 / 日］（日付の順序）を設定したら、㊋ ボタンを押す。

「分」を設定中に0秒の時報に合わせて㊋ボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。

5 ◁▷ で［🏠］の地域を選び、㊋ ボタンを押す。

- △▽で[サマータイム]の設定ができます。

カメラの使い方を知る

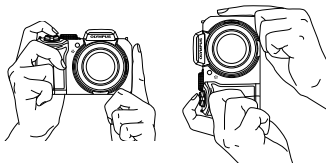
- **ON/OFF**ボタンを押すと電源が入り、撮影待機状態になります。(もう一度押すと電源が切れます。)
  - 撮影モードを選び、シャッターボタンを押して静止画を撮影します。
  - ムービーは、◉ボタンを押して撮影します。
  - 機能の設定は、ファンクションメニューまたはセットアップメニューで設定します。
- 撮った画像を再生するには、▶ボタンを押して再生状態に切り替えます。
  - 再生機能はセットアップメニューで設定します。
  - 撮影待機状態に戻るには、再度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを軽く押して戻ります。
- 電源オフの状態で▶ボタンを長押しすると、再生状態でカメラが起動します。
  - この場合、再度▶ボタンを押すと撮影待機状態になります。

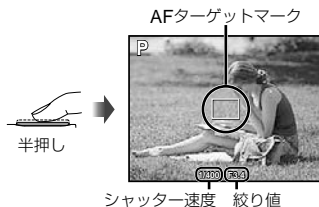
静止画を撮る

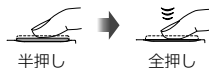
1 レンズキャップをはずす。

2 **ON/OFF**ボタンを押して電源を入れる。

3 撮影モードを選ぶ。(p. 13)

4 カメラを構えて構図を決める。

カメラを構えるときは、フラッシュやマイクなどに指などがかからないようご注意ください。

5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

AFターゲットマークが赤く点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

6 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。

ズームを使う

ズームレバーを回して撮影する範囲を調節します。

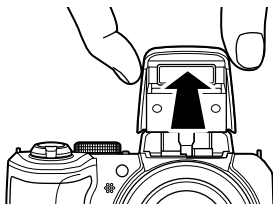
画像サイズ	ズームバー表示
14M/16:9L	W T 光学ズーム
その他	W T ST *1

*1 画素数増加の処理による画質劣化はありません。設定されている画像サイズにより倍率が変わります。

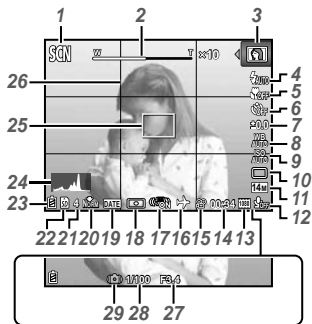
［スーパーマクロ］(p. 25)のときはズーム位置が固定されます。

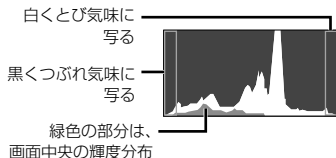
フラッシュを使う

撮影状況や表現方法に合わせてフラッシュ機能を選びます。

1 フラッシュを持ち上げる。

フラッシュを発光させないようにするには

フラッシュを手動で閉じてください。

撮影画面の表示

シャッターボタン半押し時

ヒストグラム表示の意味

No.	名称	通常	詳細	オフ
1	撮影モード	○	○	−
2	ズーム	○	○	−
3	撮影サブモード	○	○	−
4	フラッシュ	○	○	−
5	マクロ	○	○	−
6	セルフタイマー	○	○	−
7	露出補正	○	○	−
8	ホワイトバランス	○	○	−
9	ISO感度	○	○	−
10	ドライブ	○	○	−
11	画像サイズ(静止画)	○	○	−
12	録音/風切り音低減	○	○	−
13	画像サイズ(ムービー)	○	○	−
14	ムービー撮影可能時間	○	○	−
15	ムービーアイコン	○	○	−
16	ワールドタイム	−	○	−
17	手ぶれ補正	−	○	−
18	測光	−	○	−
19	日付写し込み	○	○	−
20	圧縮モード	○	○	−
21	撮影可能枚数	○	○	−
22	使用メモリ	○	○	−
23	電池残量	○	○	−
24	ヒストグラム	−	○	−
25	AFターゲットマーク	○	○	○
26	罫線	−	○	−
27	絞り値	○	○	○
28	シャッター速度	○	○	○
29	手ぶれ警告	○	○	○

表示の切り換え

△(**INFO**)を押す毎に表示(通常/詳細/オフ)が切り換わります。

! [ ] は、初期設定を表します。

撮影モード	サブモード
P（**P**モード）	—
iAUTO（**iAUTO**モード）	—
BEAUTY（**BEAUTY**モード）	おすすめ/Set1/Set2/Set3
SCN（**SCN**モード）	ポートレート/風景/夜景/夜景＆人物/スポーツ/屋内撮影/自分撮り/夕日/打ち上げ花火/料理/文書/ビーチ＆スノー/ペット(猫)/ペット(犬)/HDR逆光補正
MAGIC（**MAGIC**モード）	ポップ/ピンホール/フィッシュアイ/スケッチ/ウェディング/ロック/クリスタル/水彩/ミラー/ミニチュア/ランダムタイル/ドラマチック
⋈（パノラマモード）	オート/マニュアル/PC
（手持ち夜景）	—
[camera]（回想フォト）	7S/5S/3S/7/5/3

! 「撮影モード別設定可能一覧」(p. 58)、「**SCN**設定可能一覧」(p. 59)、「**MAGIC**設定可能一覧」(p. 61)

1 モードダイヤルで撮影モードを選ぶ。

! **BEAUTY**、**SCN**、**MAGIC**、⋈、[camera]では、◁でファンクションメニューを表示してから、◁▷でサブモードを選び、Ⓞを押します。

サブモードを選択するには

設定したサブモードのアイコン

P（Pモード）

被写体に応じて、カメラが絞り値とシャッター速度の適切な設定をします。必要に応じて露出補正など多彩な撮影設定ができます。

iAUTO（iAUTOモード）

撮影シーンに合わせて、カメラが自動的に最適な設定をします。カメラまかせで撮影するために一部の機能を除いて設定の変更はできません。

BEAUTY（BEAUTYモード）

ビューティーメイク補整をかけて撮影することができます。

1 カメラを被写体に向け、カメラが検出した顔に表れる枠を確認してから、シャッターボタンを押して撮影する。

2 確認画面で［決定］を選び、OKボタンを押して保存する。または、［ビューティーメイク］を選び、さらに補整をする。

- ビューティーメイク
  ① △▽◁▷で補整内容を選び、OKボタンを押す。

  ② 確認画面で効果を確認し、OKボタンを押すと、補整処理を行い画像を保存する。
  - ビューティーメイクの設定を登録することができます。

! 画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

! 補整後の[画像サイズ]は[5M]以下に制限されます。

SCN（SCNモード）

被写体や撮影シーンに適した撮影ができます。サブモードには、シーンに合わせた適切な撮影設定がプログラムされています。モードによっては機能に制限がかかります。
サブモード選択画面に表示される説明を参考に、お好みのサブモードを選択してください。

MAGIC（MAGICモード）

特殊な効果をかけた撮影ができます。
サブモード選択画面に表示されるサンプル画像を参考に、お好みのモードを選択してください。
それぞれの効果に適した撮影設定がプログラムされているため、設定変更のできない機能があります。

- 選択した効果によっては、ムービーに反映されないものもあります。
- [ミニチュア]で動画を撮影する場合、音声は録音されません。

⌓（パノラマモード）

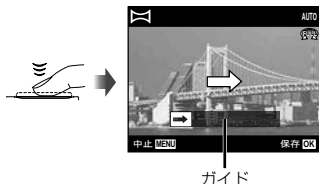
複数の画像をつなぎ合わせた画角の広い画像の撮影ができます。

サブメニュー	用途
オート	カメラを撮影する方向に動かすだけで、シャッターボタンを押さなくても自動的にパノラマ写真が作れます。
マニュアル	写真を3コマ撮り、カメラで合成する(ガイド枠を目安に構図を決め、手動でシャッターを切ります)。
PC	撮影した画像をPC用ソフトウェアでパノラマ写真に合成する。

- レンズの中心を軸にして水平方向に回すように動かすとうまく撮れます。

[オート]で撮影するには

1. サブメニューで[オート]を選び、さらに◁▷で撮影する画角を選び、Ⓞボタンを押す。
2. はじめの位置にカメラを向けます。
3. シャッターボタンを押して撮影をはじめます。

ガイド

4. 撮りたい方向にカメラを動かし、画面上のガイドが端まで進んだら、自動的に撮影が終わります。
   - 自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。
   - 途中で撮影を終えるときは、シャッターボタンかⓄボタンを押します。また、しばらく動きを止めると自動的に撮影を終了します。

- 「画像が生成できませんでした」と表示されたらもう一度撮影してください。
- 撮影を中止する場合は、**MENU**ボタンを押します。
- 自動でシャッターが切れないときは、［マニュアル］または[PC]で撮影してください。

[マニュアル]で撮影するには

① △▽◁▷で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。

③ 薄く表示された１コマ目の端と被写体が重なるように構図を決め、シャッターボタンを押す。

2コマだけ合成するときには、Ⓞボタンを押す。

④ 手順③と同様に3コマ目の画像を撮影する。自動的に合成されます。

[PC]で撮影するには

① △▽◁▷で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。1コマ目の画像の端が薄く画面に表示される。

③ 薄く表示された１コマ目の端と被写体が重なるように構図を決め、シャッターボタンを押す。

④ 手順③と同様に必要なコマ数を撮影し、Ⓞボタンまたは**MENU**ボタンを押し終了する。
最大10コマまでのパノラマ撮影が可能です。

撮影した画像はPC用ソフトウェアで合成します。

PC用ソフトウェアのインストールについては、(p. 46)をご覧ください。また、PCソフトウェアでのパノラマ合成方法はPCソフトウェアのヘルプをご覧ください。

（手持ち夜景）

三脚なしでも手ぶれを抑えた夜景が撮れます。ノイズが少なく夜景を撮影するのに最適です。

（回想フォト）

静止画を撮影した瞬間の前後のシーンをムービーとして保存します。

サブメニュー	説明
73	前7秒／後3秒
53	前5秒／後3秒
33	前3秒／後3秒
70	前7秒／後0秒
50	前5秒／後0秒
30	前3秒／後0秒

電源オン直後などのように撮影状態に入ってすぐや撮影後は、シャッターボタンを押してもすぐに撮影できない場合があります。

ムービーの画像サイズは、VGAまたは360pになります。

撮った画像を再生する

1 ▶ボタンを押す。

コマ番号/撮影総枚数

再生画像

❗ BEAUTYモード、連写で撮影した画像は、グループ化して表示されます。グループ内の画像を再生するには、ズームレバーをT側に回します。

2 ◁▷で画像を選ぶ。

❗ ▷を長押しすると早送り、◁を長押しすると早戻りします。

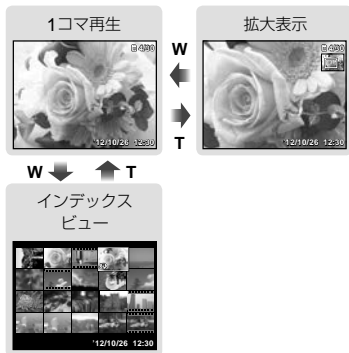
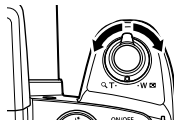
❗ もう一度▶ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

インデックスビュー・拡大表示

インデックスビューでは、すばやく目的の画像を選ぶことができます。拡大表示(最大で10倍)では画像を細部まで確認することができます。

1 ズームレバーを回す。

W
T

W T

インデックスビューで画像を選ぶには

△▽◁▷で画像を選び、㊋ボタンを押すと、選んだ画像の1コマ再生に戻ります。

拡大表示で画面をスクロールするには

△▽◁▷で再生位置を移動できます。

パノラマ画像を再生する

[オート]、[マニュアル]で合成したパノラマ画像をスクロール再生することができます。

1 再生中にパノラマ画像を選ぶ。

2 Ⓞボタンを押す。

パノラマ画像再生中の操作

再生を中止：MENUボタンを押す。
一時停止：Ⓞボタンを押す。
一時停止中の操作：

△▽◁▷を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
ズームレバーを回すと、拡大または縮小します。
Ⓞボタンを押すと、スクロールを再開します。

グループ画像を再生する

撮影時の機能によっては、画像の再生時に、撮影した複数のコマをグループ化して表示します。展開して再生する、一括で消去する、展開して特定の画像だけを消去する、などの操作ができます。

望遠(T)側	展開する。 • 表示したいコマを選んでⓄボタンを押すと個別に画像を表示します。 • ◁▷で前後のコマを見ることができます。
Ⓞボタン	再生する、再生中に一時停止する。
△▽	音声が記録されている画像を再生中、音量を調節する。

グループコマを消去すると、グループ画像が一括で消去されます。グループ画像の中に残したい画像がある場合は、展開して個々にプロテクトしてください。

連写コマ

- 連写コマを自動的に再生します。
- 展開するとインデックス表示します。

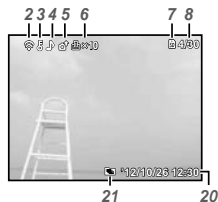
連写コマ

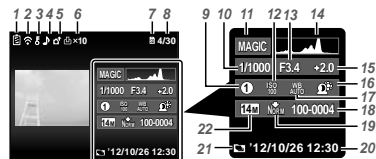
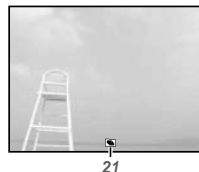
🅾︎ (回想フォト)コマ

- ショートムービーと静止画を再生します。

モードコマ

再生画面の表示

- 通常表示

静止画

- 詳細表示

- 表示オフ

No.	名称	通常	詳細	オフ
1	電池残量	–	○	–
2	Eye-Fi送信情報	○	○	–
3	プロテクト	○	○	–
4	録音	○	○	–
5	アップロード予約	○	○	–
6	プリント予約/枚数	○	○	–
7	使用メモリ	○	○	–
8	コマ番号/総枚数	○	○	–
9	MAGICモード	–	○	–
10	シャッター速度	–	○	–
11	撮影モード	–	○	–
12	ISO感度	–	○	–
13	絞り値	–	○	–
14	ヒストグラム	–	○	–
15	露出補正	–	○	–
16	暗部補正	–	○	–
17	ホワイトバランス	–	○	–
18	ファイル名	–	○	–
19	圧縮モード	–	○	–
20	撮影日時	○	○	–
21	グループ画像	○	○	○
22	画像サイズ	–	○	–

表示の切り換え

△（**INFO**）を押す毎に表示（通常/詳細/オフ）が切り換わります。

再生中の画像を消去する（1コマ消去）

1 消去する画像の再生中に▽（🗑）を押す。

2 △▽で[消去]を選び、OKボタンを押す。

画像を選択して消去したり、一度に全コマ消去することもできます。（p. 36）

ムービーを撮る

1 ◉ボタンを押して撮影をはじめる。

- 設定している撮影モードに応じてムービー撮影されます。一部の撮影モードでは撮影モードの効果が得られない場合があります。
- 音声も同時に録音されます。

2 ◉ボタンをもう一度押して撮影を終了する。

ムービーを再生する

ムービーを選び、Ⓐボタンを押します。

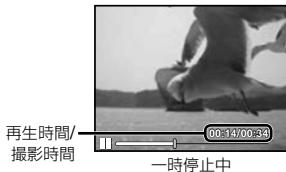
ムービー

再生中

一時停止する/再生を再開する	Ⓐボタンを押すと、一時停止します。一時停止、早送り、巻き戻し中にⒶボタンを押すと、再生を再開します。
早送りする	▷を押すと、早送りをします。さらに▷を押すと、早送りの速度が早くなります。
巻き戻しする	◁を押すと、巻き戻しします。さらに◁を押すと巻き戻しの速度が早くなります。
音量を調節する	△▽で音量を調整します。

一時停止中の操作

再生時間/撮影時間

一時停止中

頭出しする	△で先頭のコマを、▽で最後尾のコマを表示します。
コマ送りする/コマ戻しする	▷または◁を押すとコマ送り/コマ戻しします。▷や◁を押している間は、再生/逆再生します。
再生を再開する	㊇ボタンを押すと、再生を再開します。

ムービー再生を中止するには

MENUボタンを押します。

! パソコンでムービーを再生する場合、同梱のPC用ソフトウェアのご使用をおすすめします。
同梱のPC用ソフトウェアを最初にご使用になる際、カメラをPCに接続しソフトウェア（p. 45）を起動してください。

メニュー設定

撮影メニューには、撮影モードによって設定できない機能もあります。
詳細は「撮影モード別設定可能一覧」(p. 58)をご覧ください。

ファンクションメニュー　　　セットアップメニュー

ファンクションメニュー (p. 25)

① フラッシュ	③ セルフタイマー	⑤ ホワイトバランス	⑦ ドライブ
② マクロ	④ 露出補正	⑥ ISO感度	⑧ 画像サイズ

セットアップメニュー

⑨ 撮影メニュー１　(p. 29)
- リセット
- 圧縮モード
- 暗部補正
- AF方式
- 測光
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正

⑩ 撮影メニュー２　(p. 31)
- AFイルミネータ
- 撮影確認
- 縦横方向記録
- アイコンガイド
- 日付写し込み
- 超解像ズーム

⑪ ムービーメニュー　(p. 33)
- 画像サイズ
- 手ぶれ補正
- ムービー録音
- 風切り音低減

⑫ 再生メニュー　(p. 34)
- スライドショー
- 編集
- 消去
- プリント予約
- プロテクト
- アップロード予約

⑬ 設定メニュー１　(p. 38)
- 内蔵メモリ初期化/カード初期化
- データコピー
- Eye-Fi送信
- USB接続モード
- 再生ボタン起動
- 音設定
- ファイル名メモリー

⑭ 設定メニュー２　(p. 40)
- ピクセルマッピング
- モニタ調整
- テレビ出力
- 節電モード
- （言語設定）
- 日時設定
- ワールドタイム

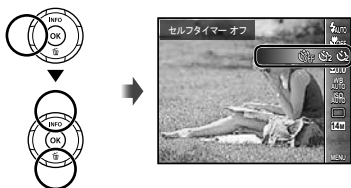
⑮ 設定メニュー３　(p. 44)
- ビューティー登録

ファンクションメニューの使い方

1 ◁ でファンクションメニューを表示させる。

2 △▽ で設定したい機能に移る。

3 ◁▷ で設定値を選び、㊋ を押して確定する。

セルフタイマーの例

フラッシュ [*1、2]		フラッシュの発光の仕方の設定
⚡AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
◉	赤目軽減	予備発光を行い、目が赤く写るのを軽減します。
⚡	強制発光	フラッシュが必ず発光します。
⊘	発光禁止	フラッシュは発光しません。
マクロ		**被写体に近づいて撮影するときの設定**
🌷OFF	マクロ オフ	マクロモードを解除します。
🌷	マクロ	10cm（W）/3.0m（T)まで被写体に接近して撮影できます。
🌷S	スーパーマクロ	被写体に1cmまで接近して撮影できます。
セルフタイマー		**シャッターボタンを押してから撮影までの時間の設定**
⏱OFF	セルフタイマーオフ	セルフタイマーを解除します。
⏱12	セルフタイマー 12s	セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
⏱2	セルフタイマー 2s	セルフタイマーランプが約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
⏱AUTO	オートシャッター	正面を向いたペット(犬、猫)の顔を検出し、自動的にシャッターが切れます。

露出補正	カメラが調節した明るさ(適正露出)を補正します。
-2.0 ~ +2.0　数値	ーの数値が大きいほど暗く、+の数値が大きいほど明るく補正します。
ホワイトバランス	**撮影シーンの光源に応じた色合いの設定**
WB AUTO　WBオート	カメラが自動的に調整します。
晴天	晴れた屋外での撮影に適しています。
曇天	曇った屋外での撮影に適しています。
電球	電球の灯りでの撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯の灯りでの撮影に適しています。
ワンタッチ1	撮影時の光源にマニュアルで合わせます。 白い紙等を画面いっぱいに写るように置き、**MENU**ボタンを押して設定します。
ワンタッチ2	
ISO感度*3	**光に対する感度の設定**
ISO AUTO　ISOオート	画質を優先し、カメラが自動的に設定します。
ISO HIGH　高感度オート	手ぶれや被写体ぶれの軽減を優先し、カメラが自動的に設定します。
ISO 80 ~ ISO 6400　数値	数値が小さいほど画像のノイズが少なく、大きいほどぶれが軽減されます。
ドライブ	**連続撮影の設定**
単写	シャッターボタンを押すごとに1コマ撮影します。
連写1	約1.5コマ/秒の速度で連写します。
連写2	約3コマ/秒の速度で最大約3コマ連写します。
高速連写1	約10コマ/秒の速度で最大約34コマ連写します。
高速連写2	約30コマ/秒の速度で最大約34コマ連写します。

画像サイズ[*4]		記録画素数の設定
14M	4288×3216	A3サイズの印刷に適しています。
8M	3264×2448	A3サイズ以下の印刷に適しています。
5M	2560×1920	A3サイズ以下の印刷に適しています。
3M	2048×1536	A4サイズ以下の印刷に適しています。
2M	1600×1200	A5サイズの印刷に適しています。
1M	1280×960	はがきサイズの印刷に適しています。
VGA	640×480	メールでの使用に適しています。
16:9L	4288×2416	テレビでの閲覧に適しています。ワイド感を表現したいときに適しています。A3サイズ相当の印刷に適しています。
16:9S	1920×1080	テレビでの閲覧に適しています。ワイド感を表現したいときに適しています。A5サイズ相当の印刷に適しています。

[*1] [マクロ]が[スーパーマクロ]のときは、[発光禁止]に制限されます。

[*2] [ドライブ]が[単写]以外のときは[発光禁止]に制限されます。

[*3] [ドライブ]が高速連写のときは、[ISO AUTO ISOオート]に制限されます。

[*4] [ドライブ]が高速連写のときは、[3M]以下に制限されます。

ワンタッチホワイトバランスの登録

[ワンタッチ1]または[ワンタッチ2]を選び、カメラを白い紙などに向け**MENU**ボタンを押します。

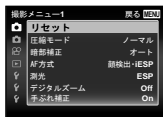
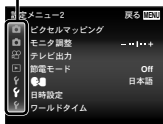
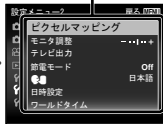
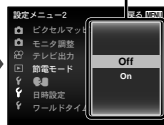
- シャッターが切れてホワイトバランスが登録されます。登録済みの場合は登録内容が更新されます。
- 登録されたホワイトバランスは電源を切っても消去されません。
- 実際に撮影する光源下で操作を行ってください。
- カメラの設定を変えた場合は再登録が必要です。

登録できないときは、画面いっぱいに白い紙が写ることを確認し、再度行ってください。

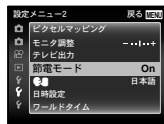
セットアップメニューの使い方

撮影時または再生時に**MENU**ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。
セットアップメニューでは、撮影/再生時の機能や日時や画面表示設定などカメラの様々な機能を設定します。

1 **MENU** ボタンを押す。

- セットアップメニューが表示されます。

2 ◁ でページタブを選択する。△▽ で目的のページタブを選び、▷ を押す。

3 △▽ で目的のサブメニュー 1 を選び、㊝ ボタンを押す。

4 △▽ で目的のサブメニュー 2 を選び、㊝ ボタンを押す。

- 設定が確定して1画面前に戻ります。

設定後、さらに個別の操作があることがあります。

5 **MENU** ボタンを押して設定を終える。

は、初期設定を表します。

操作方法は「セットアップメニューの使い方」（p. 28）をご覧ください。

撮影メニュー 1

撮影機能を初期設定に戻す [リセット]

サブメニュー 2	用途
実行	以下のメニュー機能を初期設定に戻す。 • 撮影モード • フラッシュ • マクロ • セルフタイマー • 露出補正 • ホワイトバランス • ISO感度 • ドライブ • 画像サイズ • 撮影メニュー 1、撮影メニュー 2、ムービーメニューの機能
中止	設定を残す。

静止画の画質を選ぶ [圧縮モード]

サブメニュー 1	用途
ファイン	高品質な画質で撮影できます。
ノーマル	標準的な画質で撮影できます。

「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数（静止画）/撮影可能時間（ムービー）」（p. 64、p. 65）

逆光でも被写体を明るく撮る [暗部補正]

サブメニュー 2	用途
オート	撮影シーンに応じて自動的にOnになる。
Off	暗部補正をしない。
On	暗くなった部分を、明るくなるように自動補正して撮影する。

［オート］または［On］のとき、［測光］は［ESP］に固定されます。

ピントを合わせる範囲を選ぶ [AF方式]

サブメニュー 2	用途
顔検出・iESP	ピント合わせをカメラまかせにして撮影する。（カメラが人物の顔を検出した場合、検出した顔に白い枠[*1]を表示します。シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、枠は緑色[*2]になります。また、被写体に人物の顔がない場合は、カメラがピントを合わせる被写体を画面内から探して、自動的にピントを合わせます。）
スポット	AFターゲット内の被写体にピントを合わせる。
自動追尾	動いている被写体に自動でピントを合わせ続ける。

[*1] 被写体によっては、枠が現れなかったり、現れるまでに時間がかかることがあります。

[*2] 枠が赤く点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

動いている被写体に自動でピントを合わせ続けるには（自動追尾）

① AFターゲットマークを被写体に合わせて、ⓞボタンを押します。
② 被写体を認識すると、被写体の動きに合わせてAFターゲットマークが動き、自動でピントを合わせ続けます。
③ 中止するときは、ⓞボタンを押します。

- 被写体や撮影状況によっては、ピントを固定できなかったり、被写体を追尾できなくなることがあります。
- 被写体を追尾できなくなったときは、AFターゲットマークが赤く点灯します。

明るさを測る範囲を選ぶ 📷 [測光]

サブメニュー 2	用途
ESP	画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をする（画面の中央と周辺を個別に測光します）。
スポット	逆光のとき中央の被写体を撮影する（画面の中央部分を測光します）。

- [ESP]のとき、強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。

光学ズームより大きく撮る 📷 [デジタルズーム]

サブメニュー 2	用途
Off	デジタルズーム機能なしで撮影する。
On	デジタルズーム機能を使って撮影する。

- [スーパーマクロ](p. 25)のときは設定できません。
- [デジタルズーム]の設定によって、ズームバーの表示が変わります。（p. 32）

撮影時の手ぶれを補正する 📷 [手ぶれ補正]

サブメニュー 2	用途
Off	手ぶれ補正機能なしで撮影する（三脚使用時などカメラを固定して撮影するときに設定します）。
On	シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正機能が動作します。
撮影時	シャッターボタンの全押しで手ぶれ補正機能が動作します。

- 手ぶれ補正機能動作中は、手ぶれを補正するためにカメラ内部から音がすることがあります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- 夜間撮影など、シャッター速度が極端に遅くなるときは、[手ぶれ補正]が効きにくくなることがあります。

被写体が暗いときに補助光を使う [AFイルミネータ]

サブメニュー 2	用途
Off	AFイルミネータを使わない。
On	シャッターボタンを半押しして点灯するAFイルミネータを使ってピントを合わせる。

撮影直後に画像を確認する [撮影確認]

サブメニュー 2	用途
Off	撮影後、モニタで被写体を追いながら次の撮影に備える（撮影した画像を記録中に表示しない）。
On	撮影後、撮影した画像の簡単なチェックをする（撮影した画像を記録中に表示する）。

縦位置で撮影した画像を自動的に回転して再生する [縦横方向記録]

- 撮影時に、再生メニューの[回転表示]（p. 36）の設定を自動的に行います。
- カメラを上向きや下向きにして撮影すると、正しく機能しない場合があります。

サブメニュー 2	用途
Off	縦横位置情報を画像に記録しないので、縦位置で撮影した画像は回転していない状態で再生される。
On	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録し、自動的に回転して再生される。

アイコンの説明を表示する [アイコンガイド]

サブメニュー 2	用途
Off	表示しない。
On	撮影モードやファンクションメニューで選択されたアイコンの説明を表示する（カーソルを合わせ、しばらくすると説明が表示されます）。

静止画撮影時に日付を写し込む 📷[日付写し込み]

サブメニュー 2	用途
Off	静止画に日付を写し込まない。
On	静止画に日付を写し込んで撮影する。

- 日時設定がされていない場合、[日付写し込み]は設定できません。「電源を入れ、初期設定をする」(p. 8)
- 画像に写し込んだ日付を削除することはできません。
- ドライブが[単写]以外に設定されている場合、日付を写し込むことができません。

超解像技術を使って画質劣化を抑えズーム撮影する 📷[超解像ズーム]

サブメニュー 2	用途
Off	超解像ズーム機能なしで撮影する。
On	超解像ズーム機能を使って撮影する。

- [画像サイズ]が[14M]または[16:9 L]のときのみ有効です。

超解像ズーム	デジタルズーム	画像サイズ	ズームバー表示
On	Off	14M/16:9L	W T 超解像ズーム
Off	On	14M/16:9L	W T デジタルズーム
		その他	W ▽ T *1
On	On	14M/16:9L	W ▽ T 超解像ズーム デジタルズーム

*1 画素数増加の処理による画質劣化はありません。設定されている画像サイズにより倍率が変わります。

- ズームバーが赤く表示されているときは、画像が粗くなる可能性があります。

🎥 ムービーメニュー

ムービーの画質を選ぶ 🎥 [画像サイズ]

サブメニュー 2	用途
1080p 720p VGA (640×480) HS720 60fps[*1] HSVGA 120fps[*1] HSQVGA 240fps[*1]	画像のサイズと粗さに応じて画質を選びます。

[*1] HS：動きの速い被写体を撮影しスローモーション再生します。

- HS動画の場合、**P**以外の撮影モードは選べません。
- 「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数(静止画)/撮影可能時間(ムービー)」(p. 64, 65)

撮影時の手ぶれを補正する 🎥 [🎥手ぶれ補正]

サブメニュー 2	用途
Off	手ぶれ補正機能なしで撮影する(三脚使用時などカメラを固定して撮影するときに設定します)。
On	手ぶれ補正機能を使って撮影する。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。

ムービー撮影時に音声を録音する 🎥 [ムービー録音]

サブメニュー 2	用途
Off	録音しない。
On	ムービー撮影時に録音する。

- HS動画の場合、録音はできません。

記録される音声の風切り音を低減する 🎥 [風切り音低減]

サブメニュー 2	用途
Off	風切り音低減機能なしで撮影する。
On	風切り音低減機能を使って撮影する。

▶ 再生メニュー

静止画を自動再生する ▶[スライドショー]

サブメニュー2	サブメニュー3	用途
BGM	Off/Cosmic/Breeze/Mellow/Dreamy/Urban	スライドショー中に流す音楽（BGM）を選ぶ。
スタイル選択	標準/フェード/ズーム	画像の転換効果（スタイル）を選ぶ。
スタート	—	スライドショーをはじめる。

- スライドショー中に▷を押すと1コマ送り、◁を押すと1コマ戻ります。
- スライドショーを終了するには、**MENU**ボタンまたは㊋ボタンを押します。

画像のサイズを変える ▶[リサイズ]

大きいサイズで撮った画像を、メール添付用などのために小さい別画像として保存します。

サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3
編集	リサイズ	VGA 640×480
		QVGA 320×240

① ◁▷で画像を選ぶ。

② △▽で画像サイズを選び、㊋ボタンを押す。

- リサイズされた画像が、別画像として保存されます。

画像の一部を切り出す ▶[トリミング]

サブメニュー1	サブメニュー2
編集	トリミング

① ◁▷で画像を選び、㊋ボタンを押す。

② ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、△▽◁▷で枠を移動する。

③ 切り出す範囲が決まったら、㊋ボタンを押す。

- 編集した画像が、別画像として保存されます。

静止画に音声を追加する ▶[録音]

サブメニュー1	サブメニュー2
編集	録音

① ◁▷で画像を選ぶ。

② 録音マイクを音源に向ける。

③ ㊊ボタンを押す。

- 録音がはじまります。
- 静止画の再生中に約4秒間、音声を追加(録音)します。

顔をキレイに演出する ▶[ビューティーメイク]

サブメニュー1	サブメニュー2
編集	ビューティーメイク

画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

① ◁ ▷で画像を選び、㊊ボタンを押す。

② △▽で補整設定を選び、㊊ボタンを押す。

③ 確認画面で[決定]を選び、㊊ボタンを押して保存する。または、[ビューティーメイク]を選び、さらに補整をする。

- 補整した画像が、別画像として保存されます。

補整後の[画像サイズ]は[5M]以下に制限されます。

ビューティーメイク

① 補整項目を選び、㊊ボタンを押す。

② 確認画面で㊊ボタンを押す。

逆光などで暗くなった部分を明るくする ▶[逆光自動調整]

サブメニュー 1	サブメニュー 2
編集	逆光自動調整

① ◁▷で画像を選び、OKボタンを押す。
- 編集した画像が、別画像として保存されます。

! 画像によっては、補正効果が得られない場合があります。

! 補正により画像が粗くなることがあります。

フラッシュ撮影で赤くなった目の色を補正する ▶[赤目補正]

サブメニュー 1	サブメニュー 2
編集	赤目補正

① ◁▷で画像を選び、OKボタンを押す。
- 編集した画像が、別画像として保存されます。

! 画像によっては、補正効果が得られない場合があります。

! 補正により画像が粗くなることがあります。

画像を回転させる ▶[回転表示]

サブメニュー 1	サブメニュー 2
編集	回転表示

① ◁▷で画像を選ぶ。
② OKボタンを押して画像を回転させる。
③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して他の画像にも続けて設定を行い、最後に**MENU**ボタンを押す。

! [回転表示]の設定は電源を切った後も保持されます。

画像を消去する ▶ [消去]

サブメニュー 2	用途
全コマ消去	内蔵メモリ/カードの画像をすべて消去する。
選択消去	画像を1コマずつ選びながら消去する。
1コマ消去	再生中の画像を消去する。
グループ消去	グループコマ内の画像をすべて消去する。(p. 18)

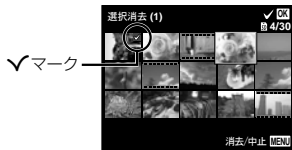
! 内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。

! プロテクトされた画像は消去できません。

[選択消去]するには

① △▽で[選択消去]を選び、㋳ボタンを押す。

② △▽◁▷で画像を選び、㋳ボタンを押して✓マークをつける。

- 1コマ表示に戻るにはT側に回します。

③ 手順②を繰り返して消去する画像を選び、最後に**MENU**ボタンを押す。

④ △▽で[消去]を選択し、㋳ボタンを押す。

- ✓マークをつけた画像が消去されます。

[全コマ消去]するには

① △▽で[全コマ消去]を選び、㋳ボタンを押す。

② △▽で[消去]を選択し、㋳ボタンを押す。

画像データに印刷設定を記録する ▶[プリント予約]

- 「プリント予約」(p. 51)
- プリント予約はカードに記録された静止画だけに設定できます。

画像を消去できないようにする ▶[プロテクト]

- プロテクトされた画像は[1コマ消去](p. 21、36)、[選択消去][全コマ消去][グループ消去](p. 36)では消去できませんが、[内蔵メモリ初期化]/[カード初期化](p. 38)を行うと消去されます。

① ◁▷で画像を選ぶ。

- ズームレバーをW側に回すと、画面がインデックスビューに切り替わり、△▽◁▷ですばやく画像を選択することができます。

② ㋳ボタンを押す。

- 再度㋳ボタンを押すと、設定が解除されます。

③ 必要に応じて手順①、②を繰り返してプロテクトする設定を続け、最後に**MENU**ボタンを押す。

OLYMPUS Viewer 2でインターネットにアップロードする画像を設定する
▶[アップロード予約]

① ◁▷で画像を選ぶ。

- ズームレバーをW側に回すと、画面がインデックスビューに切り替わり、△▽◁▷ですばやく画像を選択することができます。

② Ⓞボタンを押す。

- 再度Ⓞボタンを押すと、設定が解除されます。

③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して他の画像にも続けて設定を行い、最後に**MENU**ボタンを押す。

! JPGファイルの画像のみ予約設定できます。

! OLYMPUS Viewer 2については「PC用ソフトウェアのインストールとユーザー登録を行う」（p. 46）をご参照ください。

! アップロードの方法については、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

設定メニュー 1

データを完全に消去する
[内蔵メモリ初期化] / [カード初期化]

! 初期化の前には、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

! 新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

! 内蔵メモリを初期化するときは、カードを取り出しておいてください。

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリまたはカードの画像データ（プロテクトをかけた画像を含む）を完全に消去する。
しない	初期化をキャンセルする。

内蔵メモリからカードへ画像をコピーする
[データコピー]

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリの画像データをカードにコピーする。
しない	コピーをキャンセルする。

Eye-Fiカードを使う [Eye-Fi送信]

サブメニュー 2	用途
全て	全ての画像を自動で送信する。
選択コマ	選択した画像を自動で送信する。
送信しない	Eye-Fi通信をしない。

- Eye-Fiカードをご使用の際は、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に準拠してご使用ください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。
- 飛行機の中など使用を禁止される場所では、Eye-Fiカードをカメラから取り出すか、[Eye-Fi送信]を[送信しない]にしてください。
- Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応しておりません。

カメラと他の機器の接続方法を選ぶ [USB接続モード]

サブメニュー 2	用途
オート	カメラを他の機器と接続するたびに、接続方法を選択する設定にする。
ストレージ	カードリーダーとして接続します。
MTP	Windows VistaまたはWindows 7のPCにポータブルデバイスとして接続します。
プリント	PictBridge対応プリンタと接続するときに設定する。

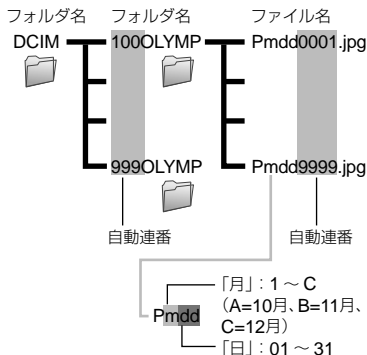
- 付属のソフトウエアを使用する場合は[ストレージ]を選択してください。
- PCとの接続方法は「PCと接続する」(p. 45)をご覧ください。

▶ボタンで電源を入れる [再生ボタン起動]

サブメニュー 2	用途
起動しない	電源は入りません。電源を入れるときはON/OFFボタンを押してください。
起動する	▶ を長押しすると電源が入り、再生モードで起動する。

カメラの電子音を選ぶ・音量を調節する [音設定]

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
操作音種類	1/2/3	カメラの電子音(操作音、シャッター音)を選ぶ。
操作音量	0/1/2/3/4/5	ボタンの操作音量と起動音量を選ぶ。
再生音量	0/1/2/3/4/5	画像を再生するときの音量を選ぶ。

画像ファイル名の連番をリセットする [ファイル名メモリー]

サブメニュー 2	用途
リセット	カードを入れ替えたとき、フォルダ名とファイル名の連番をリセットする[*1]（カード別に画像を管理するときに便利です）。
オート	カードを入れ替えても、フォルダ名とファイル名の連番を前のカードから継続する（すべての画像のフォルダ名とファイル名を通し番号で管理するのに便利です）。

[*1] フォルダ名の連番は「100」、ファイル名の連番は「0001」に戻ります。

設定メニュー 2

画像処理機能を調整する [ピクセルマッピング]

- この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安として行ってください。
- 最適な効果を得るため、撮影・再生直後より約1分以上時間を置いて実行してください。処理中にカメラの電源を切ってしまったときは、必ずもう一度実行してください。

画像処理機能を調整するには

[スタート]（サブメニュー 2）表示中にⓄボタンを押す。

- 画像処理機能のチェックと調整がはじまります。

モニタの明るさを調整する [モニタ調整]

モニタの明るさを調整するには

① 画面を見ながら△▽で明るさを調整し、Ⓞボタンを押す。

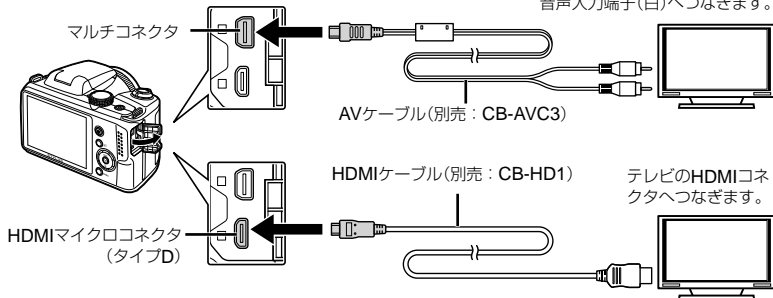
テレビで画像を再生する [テレビ出力]

国と地域により、テレビの映像信号方式は異なります。テレビでカメラの画像を再生する前に、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選びます。

サブメニュー2	サブメニュー3	用途
NTSC/PAL	NTSC	日本、北米、台湾、韓国などでカメラをテレビに接続して再生する。
	PAL	ヨーロッパ諸国、中国などでカメラをテレビに接続して再生する。
HDMI出力	480p/576p 720p 1080i	優先して出力する再生形式を設定する。TV側が異なる設定のときは自動的に変更される。
HDMI コントロール	Off	カメラで操作する。
	On	テレビのリモコンで操作する。

カメラの画像をテレビで再生するには

- AVケーブルで接続する場合
  ① カメラで、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選ぶ([NTSC] / [PAL])。
  ② テレビとカメラを接続する。
- HDMIケーブルで接続する場合
  ① カメラで接続するときのデジタル信号形式を選ぶ([480p/576p] / [720p] / [1080i])。
  ② テレビとカメラを接続する。
  ③ テレビの電源を入れて「入力」を「ビデオ(カメラを接続した入力端子)」に切り替える。
  ④ カメラの電源を入れて、△▽◁▷で再生する画像を選ぶ。

USBケーブルでカメラをパソコンと接続している際は、HDMIケーブルをカメラに接続しないでください。

- テレビの入力切り替えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

画像をテレビのリモコンで操作するには

① [HDMIコントロール]を[On]に設定して、カメラの電源をOFFにする。
② カメラとテレビをHDMIケーブルで接続する。「HDMIケーブルで接続する場合」(p. 41)
③ テレビの電源を入れてから、カメラの電源を入れる。

- テレビに表示される操作ガイドにしたがって操作してください。

- お使いのテレビによっては、操作ガイドが表示されてもテレビのリモコンでは操作できない場合があります。
- テレビのリモコンで操作できない場合は、[HDMIコントロール]を[Off]にして、カメラで操作をしてください。

使わないときの電池の消費を抑える ᵞ[節電モード]

サブメニュー2	用途
Off	[節電モード]を解除する。
On	撮影中に約10秒間カメラを操作しないとき、モニタを自動的に消すなどして電池の消耗を抑える。

節電モードから復帰するには

いずれかのボタンを操作します。

表示言語を切り替える ᵞ[言語]

サブメニュー2	用途
言語	モニタに表示されるメニューやエラーメッセージの言語を選ぶ。

日付・時刻を設定する ᵞ[日時設定]

日時を設定するには

① △▽で[年]を選ぶ。
② ▷を押して[年]を確定する。
③ 手順①、②と同様に、△▽◁▷で[月]、[日]、[時刻]（時、分)、[年/月/日]（日付の順序)を設定したら、Ⓐボタンを押す。

「分」を設定中に0秒の時報に合わせてⒶボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。

日付の表示順序を選ぶには

①「分」の設定後に▷を押し、△▽で日付の表示順序を選ぶ。

② Ⓐボタンを押して設定する。

日時を確認するには

電源オフ時に**INFO**ボタンを押すと、「日時」が約3秒間表示されます。

自宅と訪問先を設定する [ワールドタイム]

[日時設定]を設定していないと、[ワールドタイム]は設定できません。

サブメニュー2	サブメニュー3	用途
自宅/訪問先	🏠	サブメニュー 2の🏠(自宅)に設定した地域の日時を表示する。
	✈	サブメニュー 2の✈(訪問先)に設定した地域の日時を表示する。
🏠*1	—	🏠(自宅)に設定する地域を選ぶ。
✈*1、2	—	✈(訪問先)に設定する地域を選ぶ。

*1 サマータイムを実施している地域の場合、△▽で[サマータイム]の設定ができます。

*2 地域を選択すると、カメラが自動的に🏠(自宅)との時差を計算し、✈(訪問先)の日時を設定します。

設定メニュー 3

ビューティーメイクの設定を登録する [ビューティー登録]

画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

① △▽で補整設定を選び、Ⓐボタンを押す。
② シャッターボタンを押して、人物を撮影する。

画像は保存されません。

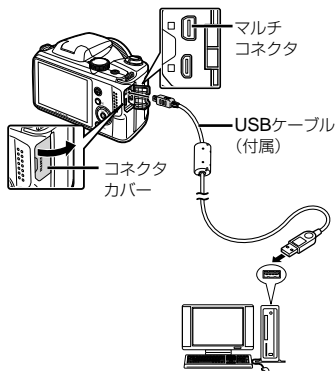
③ 補整項目を選び、Ⓐボタンを押す。

④ 確認画面でⒶボタンを押して保存する。

- 登録が完了します。

PCと接続する

あらかじめカメラの設定メニューで[USB接続モード]設定しておきます。(p. 39)

接続方法

[USB接続モード]を[オート]に設定の場合、カメラとPCを接続し、接続方式を選択する画面で、[ストレージ]または[MTP]を選び㊙ボタンを押す。

動作環境

Windows ： Windows XP Home Edition/Professional (SP1以降)/ Windows Vista/ Windows 7

Macintosh ： Mac OS X v10.3以降

- Windows XP(SP2以上)/Windows Vista/Windows 7 以外の動作環境の場合は[ストレージ]に設定してください。
- USBポートのあるパソコンでも、以下の環境では正常な動作は保証されません。
  - 拡張カードなどでUSBポートを増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン、および自作パソコン
- SDXCカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(全ての画像が消去されますので、フォーマットしないでください。)

PC用ソフトウェアのインストールとユーザー登録を行う

Windows

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

Windows XPの場合
- 「セットアップ」画面が表示されます。

Windows Vista / Windows 7 の場合
- 自動起動の画面が表示されますので、「OLYMPUS Setup」をクリックしてください。「セットアップ」画面が表示されます。

! 「セットアップ」画面が表示されない場合は、スタートメニューから「マイコンピュータ」（Windows XP）/「コンピュータ」（Windows Vista）/「コンピューター」（Windows 7）をクリックし、次にCD-ROM（OLYMPUS Setup）のアイコンをダブルクリックして「OLYMPUS Setup」ウィンドウを開きます。最後に、「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。

! 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 ユーザー登録を行う。
- 「ユーザー登録」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従って操作を行ってください。

! ユーザー登録を行うにはカメラとパソコンを接続する必要があります。「接続方法」（p. 45）

! カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。一旦接続を外し、電池を新しい電池または充電された電池に交換してから、接続し直してください。

3 OLYMPUS Viewer 2（PC用ソフトウェア）のインストールを行う。
- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

OLYMPUS Viewer 2	
OS	Windows XP（SP2 以上）/ Windows Vista / Windows 7
CPU	Pentium 4 1.3GHz 以上（ムービーを扱う場合:Core2Duo 2.13GHz以上）
RAM	1GB 以上（2GB 以上推奨）
HDDの空き容量	1GB 以上
モニタ	1024×768 ドット以上、65,536 色以上（1,677万色以上推奨）

ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

Macintosh

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

- デスクトップにCD-ROM（OLYMPUS Setup）アイコンが表示されますので、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 「Setup」アイコンをダブルクリックすると、「セットアップ」画面が表示されます。

2 OLYMPUS Viewer 2のインストールを行う。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

OLYMPUS Viewer 2 の「ヘルプ」の「ユーザ登録」からユーザ登録を行うこともできます。

OLYMPUS Viewer 2	
OS	Mac OS X v10.4.11–v10.7
CPU	Intel Core Solo / Duo 1.5GHz 以上
RAM	1GB 以上（2GB 以上推奨）
HDDの空き容量	1GB 以上
モニタ	1024×768 ドット以上、32,000 色以上（1,677万色以上推奨）

言語を変更したい場合は、言語コンボボックスからご使用の言語を選択してください。
ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

ダイレクトプリント（PictBridge）

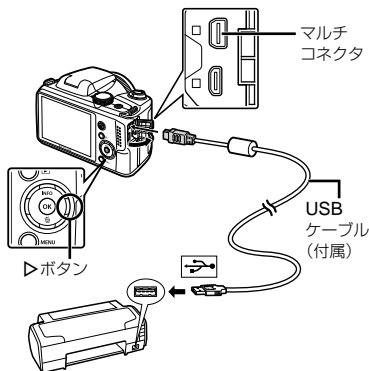
PictBridge対応プリンタにカメラを接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でご確認ください。

- このカメラで設定できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって異なります。プリンタの取扱説明書でご確認ください。
- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。
- セットアップメニューの［USB接続モード］を［プリント］に設定してください。
［USB接続モード］（p. 39）

プリンタの標準設定で画像をプリントする［かんたんプリント］

1 プリントする画像をモニタに表示する。

- 「撮った画像を再生する」（p. 17）

2 プリンタの電源を入れてから、プリンタとカメラを接続する。

3 ▷を押してプリントをはじめる。

4 続けてプリントするときは、◁▷で画像を選び、Ⓞボタンを押す。

プリントを終了するには

画像選択の画面が表示された状態でカメラとプリンタからUSBケーブルを抜きます。

プリンタの設定を変えてプリントする[カスタムプリント]

1 プリントする画像をモニタに表示する。

「撮った画像を再生する」(p. 17)

2 プリンタの電源を入れてから、プリンタとカメラを接続する。

3 ㊍ボタンを押す。

4 △▽でプリントモードを選び、㊍ボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
プリント	手順8で選択する画像をプリントする。
全コマプリント	内蔵メモリ/カード内の全画像をプリントする。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトしてプリントする。
全コマインデックス	内蔵メモリ/カード内の全画像をインデックス(一覧)形式でプリントする。
予約プリント[*1]	プリント予約の内容にしたがってプリントする。

[*1] プリント予約された画像がないときは、[予約プリント]は選択できません。「プリント予約」(p. 51)

5 △▽で[サイズ](サブメニュー 3)を選び、▷を押す。

[プリント用紙設定]画面が表示されないときは、[サイズ]と[フチ] / [分割数]はプリンタに固有の標準設定でプリントされます。

6 △▽で[フチ] / [分割数]の設定を選び、㊍ボタンを押す。

サブメニュー 4(フチ/分割数)	用途
有り/無し[*1]	用紙の周辺に余白をつけてプリントする(有り)。 用紙いっぱいにプリントする(無し)。
(分割数はプリンタにより異なる)	手順4で[マルチプリント]を選んだときのみ、分割数を選ぶ。

[*1] 選択できる[フチ]の設定はプリンタによって異なります。

手順5、6で[凸標準設定]を選択すると、プリンタに固有の標準設定でプリントされます。

7 ◁▷で画像を選ぶ。

8 表示している画像をプリント予約するときは、△を押す。表示している画像の詳細な設定を行うときは、▽を押す。

詳細な設定を行うには

① △▽◁▷で設定を行い、ⓄⓀボタンを押す。

サブメニュー5	サブメニュー6	用途
プリント枚数	0～10	プリントする画像の枚数を選ぶ。
日付	有り/無し	画像に日付をプリントする(有り)。画像に日付をプリントしない(無し)。
ファイル名	有り/無し	画像にファイル名をプリントする(有り)。画像にファイル名をプリントしない(無し)。
トリミング	(設定画面に進む)	画像の一部を選んでプリントする。

画像の一部を切り出すには[トリミング]

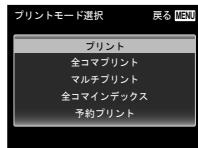
① ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、△▽◁▷で枠を移動した後、ⓄⓀボタンを押す。

② △▽で[決定]を選びⓄⓀボタンを押す。

9 必要に応じ手順7、8を繰り返して、プリントする画像の選択、詳細な設定、[1枚予約]をする。

10 ⓄⓀボタンを押す。

11 △▽で[プリント]を選び、ⓄⓀボタンを押す。

- 画像のプリントがはじまります。
- 全コマプリントモードの場合、[オプション設定]を選択すると、[プリント情報設定]画面が表示されます。
- プリントが終了すると、[プリントモード選択画面]が表示されます。

プリントを中止するには

① [USBケーブルを抜かないでください]の表示中に**MENU**ボタンを押す。

② △▽で[中止]を選び、ⓄⓀボタンを押す。

12 **MENU**ボタンを押す。

13 [USBケーブルを抜いてください]が表示されてから、カメラとプリンタからUSBケーブルを抜く。

プリント予約

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。パソコンやカメラがなくても、プリント予約したカードだけで、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。

- プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。
- 他のDPOF機器で設定したDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999画像です。

1コマずつプリント予約する［1コマ予約］

1 セットアップメニューを表示する。

「セットアップメニューの使い方」(p. 28)

2 ▶（再生メニュー)の[プリント予約]を選び、OKボタンを押す。

3 △▽で[1コマ予約]を選び、OKボタンを押す。

4 ◁▷で予約する画像を、△▽で予約する枚数を選び、OKボタンを押す。

5 △▽で[日時プリント]画面での設定を選び、OKボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
無し	画像のみをプリントする。
日付	画像と撮影年月日をプリントする。
時刻	画像と撮影時刻をプリントする。

6 △▽で[予約する]を選び、OKボタンを押す。

カード内の画像を全て1枚ずつプリント予約する[全コマ予約]

1 ［1コマ予約］（p. 51）の手順1、2を行う。

2 △▽で[全コマ予約]を選び、㊋ボタンを押す。

3 ［1コマ予約］の手順5、6を行う。

すべてのプリント予約を解除する

1 ［1コマ予約］（p. 51）の手順1、2を行う。

2 ［1コマ予約］、［全コマ予約］のいずれかを選び、㊋ボタンを押す。

3 △▽で[解除する]を選び、㊋ボタンを押す。

1コマずつプリント予約を解除する

1 ［1コマ予約］（p. 51）の手順1、2を行う。

2 △▽で[1コマ予約]を選び、㊋ボタンを押す。

3 △▽で[解除しない]を選び、㊋ボタンを押す。

4 ◁▷で予約を解除する画像を選び、△▽で予約する枚数を「0」にする。

5 必要に応じて手順4を繰り返し、最後に㊋ボタンを押す。

6 △▽で[日時プリント]の設定を選び、㊋ボタンを押す。
- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 △▽で[予約する]を選び、㊋ボタンを押す。

使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 新しい電池を入れます。
- 充電池のときは、充電します。
  「電池とカードを入れる、取り出す」（p. 6）
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。

カード・内蔵メモリ

「メッセージが表示される」

「エラーメッセージ」（p. 54）

シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する
  カメラは電源オンの状態で、何も操作しないと3分後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、モニタは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。
  さらに12 分放置すると、カメラは電源オフの状態になります。**ON/OFF**ボタンを押して電源を入れてください。
- 撮影モードにする。
- ϟ（フラッシュ充電）アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止するときがあります。電池を取り出し、カメラが冷えるまで待ちます。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

モニタ

「見にくい」

- 結露が起こっている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。

「撮影した画像に光が写っている」

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写りこむことがあります。

日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約3日間[*1]放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直してください。
  [*1] 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ替えてからの時間によって異なります。

「電源を入れ、初期設定をする」（p. 8）

その他

「撮影時にカメラ内部から音がする」

- 撮影可能状態ではオートフォーカス動作を行っているため、カメラを操作しなくてもレンズを動かしている音がすることがあります。

エラーメッセージ

モニタに以下のメッセージが表示されたときは、以下の内容を確認してください。

エラーメッセージ	問題を解決するには
このカードは使用できません	**カードの問題** 新しいカードを入れます。
書き込み禁止になっています	**カードの問題** カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。
撮影可能枚数が0です	**内蔵メモリの問題** • カードを入れます。 • 不要な画像を消去します。[*1]
内蔵メモリに残量がありません	
撮影可能枚数が0です	**カードの問題** • カードを交換します。 • 不要な画像を消去します。[*1]
カード残量がありません	
カードセットアップ 戻る MENU 電源オフ カード初期化	**カードの問題** △▽で[カード初期化]を選び、OKボタンを押します。続けて△▽で[する]を選び、OKボタンを押します。[*2]

エラーメッセージ	問題を解決するには
メモリセットアップ 戻る MENU 電源オフ 内蔵メモリ初期化	**内蔵メモリの問題** △▽で[内蔵メモリ初期化]を選び、OKボタンを押します。続けて△▽で[する]を選び、OKボタンを押します。[*2]
画像が記録されていません	**内蔵メモリ/カードの問題** 撮影してから再生します。
この画像は再生できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで再生します。それでも再生できないときは、画像ファイルの一部が壊れています。
この画像は編集できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで編集します。
電池残量がありません	**電池の問題** • 新しい電池を入れます。 • 充電池のときは、充電します。
接続されていません	**接続の問題** カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続します。
用紙がありません	**プリンタの問題** プリンタに用紙を補充します。

[*1] 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。

[*2] データはすべて消去されます。

エラーメッセージ	問題を解決するには
インクがありません	**プリンタの問題** プリンタにインクを補充します。
紙づまりです	**プリンタの問題** 紙づまりを解消します。
プリンタの設定が変更されました[*3]	**プリンタの問題** プリンタを使用できる状態に戻します。
プリンタエラーです	**プリンタの問題** カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してからもう一度電源を入れ直します。
この画像はプリントできません[*4]	**選んだ画像の問題** パソコンなどを使いプリントします。

[*3] プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をすると表示されます。プリントの設定中は、プリンタの操作をしないでください。

[*4] 他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。

撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

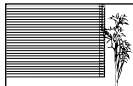
ピント

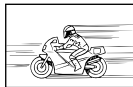
「狙ったものにピントを合わせたい」

- 画面の中心以外にある被写体を撮る
  被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせたあと、構図を決めて撮影します。
  半押し(p. 10)
- 「AF方式」(p. 29)を[顔検出・iESP]にする
- 「自動追尾」(p. 29)で撮る
  動いている被写体に自動でピントを合わせ続けて撮れます。
- 暗いところにある被写体を撮る
  AF補助光を使うとピントが合いやすくなります。
  「AFイルミネータ」(p. 31)
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮る
  以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせたあと(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがあるとき

縦線のない被写体[*1]

遠い被写体と近いものが混在するとき

動きの速い被写体

ピントを合わせたいものが中央にない

[*1] カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- 「手ぶれ補正」(p. 30)を使って撮る
  ISO感度を上げなくても撮像素子が手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。
- ムービー撮影時は「手ぶれ補正」(p. 33)を使って撮る
- SCNモードの「スポーツ」(p. 13)で撮る
  [スポーツ]を選ぶと、速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
- 高いISO感度で撮る
  高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。
  「ISO感度」(p. 26)

露出（明るさ）

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- 逆光の被写体を撮る
  逆光でも顔や背景を明るく撮れます。
  [暗部補正](p. 29)
- [顔検出・iESP](p. 29)で撮る
  逆光でも露出が顔に合い、明るく撮れます。
- [スポット](p. 30)測光で撮る
  画面中央の被写体に明るさをあわせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- [強制発光](p. 25)フラッシュで撮る
  逆光でも被写体が暗くならずに撮れます。
- 白い砂浜・雪景色をきれいに撮る
  SCNモードの[ビーチ＆スノー]で撮影します。(p. 13)
- 露出補正(p. 26)して撮る
  画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体(雪など)を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナスに補正すると効果的です。

色合い

「見た目と同じ色で撮りたい」

- 「ホワイトバランス」(p. 26)を選んで撮る
  通常は[WBオート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります。(晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたるとき、など)

画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- 光学ズームまたは超解像ズームで撮る
  [デジタルズーム](p. 30)を使わないで撮影します。
- 低いISO感度で撮る
  [ISO感度]を高くすると、ノイズ(本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら)が発生し、画像が粗く見えます。
  「ISO感度」(p. 26)

電池

「電池を長持ちさせたい」

- 以下の操作は実際に撮影しなくても、電池を消耗するので、なるべく避ける
  - シャッターボタンの半押しを繰り返す。
  - ズーム操作を繰り返す。
- [節電モード](p. 43)を[On]にする

再生・編集のヒント

再生

「内蔵メモリ/カード内の画像を再生したい」

- 内蔵メモリ内の画像を再生するときは、カードを抜く
  - 「電池とカードを入れる、取り出す」(p. 6)

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- HDMIケーブル(別売)でカメラとテレビをつなぐ
  - 「テレビで画像を再生する [テレビ出力]」(p. 41)

編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- 画像の再生時に、静かなところ(無音状態)で追加録音をする
- 「静止画に音声を追加する [録音]」(p. 35)

撮影モード別設定可能一覧

SCNについては、「**SCN**設定可能一覧」(p. 59)をご覧ください。
（網掛け）の部分は、「MAGIC 設定可能一覧」(p. 61)をご覧ください。

	P	iAUTO	BEAUTY	MAGIC	⋈	🌙✋	📷🎞
ズーム	○	○	○	○	*1	○	○
フラッシュ	○	*2	*3	○	×	×	○
マクロ	○	×	×	○	×	×	○
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○
露出補正	○	×	×		○	×	○
ホワイトバランス	○	×	×		○	×	○
ISO感度	○	×	×	×	×	×	○
ドライブ	○	×	×	×	×	×	×
画像サイズ	○	○	○		*4	○	○
リセット	○	○	○	○	○	○	○
圧縮モード	○	○	○	○	○	○	○
暗部補正	○	×	○	×	×	×	○
AF方式	○	×	×	×	*5	×	×
測光	○	×	×	○	○	×	○
デジタルズーム	○	×	○	×	×	×	×
手ぶれ補正	○	○	○	○	○	×	○
AFイルミネータ	○	×	○	○	×	○	○
撮影確認	○	○	○	○	○	○	○
縦横方向記録	○	○	○	○	○	○	○
アイコンガイド	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	○	○	○	×	○	○
超解像ズーム	○	×	×	×	×	×	×

*1 [オート]のときはW側に固定されます。
*2 [👁赤目軽減] [⚡強制発光]は使用できません。
*3 [⚡強制発光]は使用できません。
*4 [オート] [マニュアル]のときは[2M]に固定されます。[PC]のときは、[16:9L]は[14M]に、[16:9S]は[2M]に変更されます。
*5 [自動追尾]は使用できません。

SCN 設定可能一覧

ズーム	○	○	○	○	○	○	×	○	○
フラッシュ	*1	×	×	*2	*3	*3	*1	×	×
マクロ	×	×	×	×	×	×	×	×	×
セルフタイマー	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4
露出補正	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ドライブ	×	×	×	×	×	×	×	×	×
画像サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○	○	○	○	○
圧縮モード	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暗部補正	○	○	×	×	○	○	○	○	×
AF方式	○	○	○	○	○	○	×	○	×
測光	○	○	○	○	○	○	×	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	×	○	○
手ぶれ補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AFイルミネータ	○	○	○	○	○	○	○	○	×
撮影確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
縦横方向記録	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイコンガイド	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○
超解像ズーム	×	×	×	×	×	×	×	×	×

*1 [強制発光]は使用できません。
*2 [AUTOオート発光] [強制発光]は使用できません。
*3 [赤目軽減] [強制発光]は使用できません。
*4 [オートシャッター]は使用できません。

ズーム	○	○	○	○	○	○
フラッシュ	*3	×	*3	×	×	×
マクロ	×	×	×	×	×	×
セルフタイマー	*4	*4	*4	○	○	*4
露出補正	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×	×
ドライブ	×	×	×	×	×	×
画像サイズ	○	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○	○
圧縮モード	○	○	○	○	○	○
暗部補正	○	○	○	○	○	×
AF方式	○	○	○	×	×	○
測光	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	×
手ぶれ補正	○	○	○	○	○	○
AFイルミネータ	○	○	○	×	×	○
撮影確認	○	○	○	○	○	○
縦横方向記録	○	○	○	○	○	○
アイコンガイド	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	○	○	○	○	○
超解像ズーム	×	×	×	×	×	×

*3 [赤目軽減] [強制発光]は使用できません。

*4 [オートシャッター]は使用できません。

MAGIC 設定可能一覧

	ポップ	ピンホール	フィッシュアイ	スケッチ	ウェディング	ロック
露出補正	○	○	×	×	○	○
ホワイトバランス	○	○	×	×	○	×
画像サイズ	○	○	○	*1	*1	○

	クリスタル	水彩	ミラー	ミニチュア	ランダムタイル	ドラマチック
露出補正	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	○	○	○	○	○	○
画像サイズ	*1	*1	○	*1	○	*1

*1 [画像サイズ]が[16:9L]のときは[16:9S]に変更されます。それ以外の場合は[5M]以下に制限されます。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー(市販)でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

! 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

! レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

カメラの保管

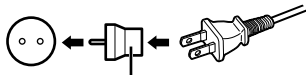
- カメラを長期間使用しないときは、電池やUSB-ACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

! 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

別売のUSB-ACアダプタを使う

本製品は別売のUSB-ACアダプタF-3ACが使用できます。専用のUSB-ACアダプタ以外は使用しないでください。F-3ACを使用する際は、必ずカメラに付属のUSBケーブルを使用してください。また、USB-ACアダプタ付属の電源コードはUSB-ACアダプタ専用です。他の製品に使用しないでください。

海外での使用について

- USB-ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100 ～ 240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ（市販）が必要になる場合があります。

変換プラグアダプタ
（市販品の一例）

詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

- 市販の海外旅行用電子変圧器（トラベルコンバーター）は、USB-ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

カードを使う

このカメラで使用できるカード

SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード（市販）（動作確認済みカードは当社ホームページをご確認ください。）

- このカメラはカードを入れなくても、内蔵メモリを使って撮影することができます。

Eye-Fiカードについて

- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなることがあります。

SD/SDHC/SDXCカードの書き込み禁止スイッチ

SD/SDHC/SDXCカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、初期化ができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。

初期化

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

画像の保存先を確認する

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、モニタで確認できます。

使用メモリ表示

IN：内蔵メモリ使用
SD：カード使用

- ［内蔵メモリ初期化］/［カード初期化］や［1コマ消去］、［選択消去］、［全コマ消去］、［グループ消去］を行っても、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードの読み出し/書き込み動作

撮影時のみ、データの書き込み中に使用メモリ表示が赤く点灯します。データの書き込み中は絶対に電池/カードカバーを開けたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが使用できなくなることがあります。

内蔵メモリとカードの撮影可能枚数(静止画）/撮影可能時間(ムービー）

- 撮影可能枚数および撮影可能時間は目安です。実際の撮影可能枚数および撮影可能時間は、撮影条件や使用するカードによって異なります。

静止画

画像サイズ	圧縮モード	撮影可能枚数	
		内蔵メモリ	SD/SDHC/SDXCカード（4GBの場合）
14M 4288×3216	FINE	5枚	563枚
	NORM	11枚	1,107枚
8M 3264×2448	FINE	10枚	965枚
	NORM	19枚	1,885枚
5M 2560×1920	FINE	16枚	1,547枚
	NORM	31枚	2,943枚
3M 2048×1536	FINE	25枚	2,463枚
	NORM	51枚	4,827枚
2M 1600×1200	FINE	41枚	4,023枚
	NORM	81枚	7,543枚
1M 1280×960	FINE	64枚	6,034枚
	NORM	125枚	12,069枚
VGA 640×480	FINE	228枚	20,115枚
	NORM	419枚	40,230枚
16:9L 4288×2416	FINE	7枚	749枚
	NORM	15枚	1,471枚
16:9S 1920×1080	FINE	38枚	3,657枚
	NORM	76枚	7,099枚

ムービー

画像サイズ	撮影可能時間			
	内蔵メモリ		SD/SDHC/SDXCカード（4GBの場合）	
	音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
1080 1920×1080*1	15秒	16秒	28分17秒	29分6秒
720 1280×720*1	45秒	49秒	80分19秒	87分20秒
VGA 640×480	1分23秒	1分38秒	143分26秒	167分23秒
HS 720 1280×720*2	—	16秒	—	29分6秒
HS VGA 640×480*2	—	24秒	—	43分40秒
HS QVGA 320×240*2	—	57秒	—	100分26秒

*1 連続して撮影できる時間は、最長29分です。

*2 連続して撮影できる時間は、最長20秒です。

カードの容量に関わらず、1度に記録できるムービーの最大ファイルサイズは4GBまでになります。

撮影枚数を増やすには

不要な画像を消去するか、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存してから、内蔵メモリ/カードの画像を消去します。[1コマ消去]（p. 21､36）､[選択消去]（p. 36）､[全コマ消去]（p. 36）､[グループ消去]（p. 36）､[内蔵メモリ初期化]/[カード初期化]（p. 38）

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュやAFイルミネータを人(特に乳幼児)に向けて至近距離で発光させない**
- **カメラで日光や強い光を見ない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
  以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ､窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し､視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
  火災・感電の原因となります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
- **連続発光後、発光部分に手を触れない**
  やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電・けがをするおそれがあります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災・感電の原因となります。
  万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- **本機の温度の高い部分に長時間触れない**
  低温やけどなどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- **通電中のUSB-ACアダプタ(別売)に長時間触れない**
  通電中のUSB-ACアダプタは、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の当社製USB-ACアダプタ以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- **SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない**
  その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
  火災・やけどの原因となることがあります。
  やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンターまたは当社サービスステーションにご連絡ください。
  (電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- **濡れた手でカメラを操作しない**
  故障・感電の原因となることがあります。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
  部品の劣化・火災の原因となることがあります。

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **端子を金属類で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど·けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

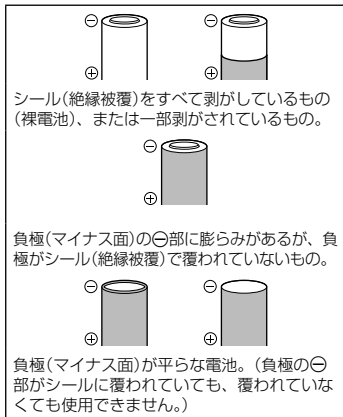
- **カメラから電池が取り出せなくなった場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。**
  電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱･破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火､破裂により､火災やけがのおそれがあります。**
  - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
  - ＋－を逆にして装着、使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
  - 外装シール(絶縁被覆)を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
  - 市販されている電池の中にも、外装シール(絶縁被覆)の一部またはすべてが剥がされている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。
- **このような形状の電池はご使用になれません。**

シール(絶縁被覆)をすべて剥がしているもの(裸電池)、または一部剥がされているもの。

負極(マイナス面)の⊖部に膨らみがあるが、負極がシール(絶縁被覆)で覆われていないもの。

負極(マイナス面)が平らな電池。(負極の⊖部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。)

- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ､変色､変形､その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。
- **マンガン電池は使用しない。**
  電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。
- このカメラでは、次の電池を使用することができます。用途に合わせてお選びください。
  単3形アルカリ電池
  撮影可能枚数はお使いの電池の銘柄や使用条件によって大きく変わります。
  単3形ニッケル水素電池

  注意：
  指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- **以下の電池は使用できません：**
  リチウム電池パック/単3マンガン電池/
  単3オキシライド電池/単3リチウム電池
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニタで画像を表示する。
  - プリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。同様に条件により、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れる場合や、逆に電池残量警告が早めに表示される場合があります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
  詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(http://www.jbrc.com)をご覧ください。

Ni-MH

USB-AC アダプタ（別売）についてのご注意

⚠ 危険

- **USB-ACアダプタを濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **USB-ACアダプタを布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **USB-ACアダプタを分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **USB-ACアダプタは指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。
  USB-ACアダプタが、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げ販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンターまたは当社サービスステーションにご連絡ください。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ずUSB-ACアダプタ本体を持つ**
  USB-ACアダプタ本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- **お手入れの際は、USB-ACアダプタ本体をコンセントから抜いて行う**
  USB-ACアダプタ本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

モニタについて

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品のモニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプタ(USB-ACアダプタ対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

Eye-FiはEye-Fi,Incの登録商標です。

Powered by ARCSOFT.

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。

第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、カメラに同梱されたCD-ROMまたは以下のURLのウェブサイトに必要に応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。

http://www.olympus.co.jp/en/support/imsg/digicamera/download/notice/notice.cfm

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

仕様

カメラ

形式	:	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式		
静止画	:	デジタル記録、JPEG（DCF準拠）
対応規格	:	Exif 2.3、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
静止画音声	:	Waveフォーマット準拠
動画	:	MOV H.264 リニアPCM
記録媒体	:	内蔵メモリ、SD/SDHC/SDXCカード(UHS-I対応)、Eye-Fiカード
カメラ部有効画素数	:	1400万画素
画像素子	:	1/2.3型CMOS（原色フィルター）
レンズ	:	オリンパスレンズ4.0 ～ 160.0mm、F3.4 ～ 5.7 (35mmフィルム換算22.4 ～ 896mm相当)
測光方式	:	撮像素子によるデジタルESP 測光、スポット測光
シャッター	:	4 ～ 1/2000秒
撮影範囲	:	0.1m ～ ∞（W)、3.0m ～ ∞（T）(通常/マクロ） 0.01m ～ ∞（スーパーマクロ時）
モニタ	:	3.0型(インチ）TFTカラー液晶、460,000ドット
コネクタ	:	DC入力端子/USB端子/AV出力端子(マルチコネクタ）/ HDMIマイクロコネクタ(タイプD)
自動カレンダー機能	:	2000 ～ 2099年の範囲で自動修正
使用環境		
温度	:	0℃～ 40℃（動作時）/-20℃～ 60℃（保存時）
湿度	:	30%～ 90%（動作時）/10%～ 90%（保存時）
電源	:	単3形アルカリ電池/ニッケル水素電池4本または別売USB-ACアダプタ
大きさ	:	幅116.9mm × 高さ78.0mm × 厚さ93.2mm（突起部を除く）
質量	:	485g（電池/カード含む）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

索引

英数/記号

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿２の３の１ 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーコール 0120-084215　　携帯電話・**PHS**からは **042-642-7499**

FAX　042-642-7486　　調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。
また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」　フリーダイヤル **0120-971995**
営業時間：平日8:00 ～ 20:00　土・日・祝日9:00 ～ 18:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。

VM569301